

■令和元年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果一覧

評価区分	意見・コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当 1 ・ 概ね妥当 4 ・ 要検討 0 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絶好のチャンスを生かしたと評価したい。本来は「妥当」と評価しても良いが、設定されている指標との連動性に距離感がある。指標を再検討しても良いかと思案する。 ・ メッセージをテーマごとにまとめて映像化しているため、アクセス数から河内長野市のどのような所に関心が持たれているのかが推測できると思う。専門家による映像化なのでコンテンツが綺麗だが、今後は、市民や素人の制作コンテンツでも情報機器が良くなっているため、コスト削減のためにも検討する必要はないか。市民を巻き込むことで、これらコンテンツのアクセス数を増やすことや魅力を訴求するICTコンテンツを多様化、豊富化して訴求し、河内長野市に住まう市民の満足感を高め、河内長野市に転入をしたいと思う人たちが増えていけば良い。 ・ 「数値目標および実績」をみても、この事業が効果があったかどうかを現段階で判断するのは難しい。広域にはあまり広報されていないと思えるが、市内では一定の認知がなされているように思える。作成されたショートムービーは美しいので、今後、どう活かすかがまさに課題と思える。（市外の者にとっては、この風景はどこなのか、もう少し具体的な情報があるとより興味が持てるのではと思えた。） ・ シティプロモーション映像は発信力のある制作物であり、動画再生回数は2万回を超えている。ロケ地マップはロケ地の地図、写真、ロケ飯等を掲載しており、河内長野市のPR映像、冊子として概ね効果があったものと思う。